

Course number		U-LAS61 10001 LJ14			
Course title (and course title in English)	地球環境学のすすめ Introduction to Global Environmental Studies		Instructor's name, job title, and department of affiliation	Graduate School of Global Environmental Studies Professor,SAIZEN IZURU	
				Graduate School of Global Environmental Studies Associate Professor,FUKAMACHI KATSUE	
				Graduate School of Global Environmental Studies Associate Professor,SHINJYO HITOSHI	
				Graduate School of Global Environmental Studies Associate Professor,ASARI MISUZU	
				Graduate School of Asian and African Area Studies Associate Professor,HARADA HIDENORI	
				Graduate School of Global Environmental Studies Associate Professor,MORI AKIHISA	
				Graduate School of Global Environmental Studies Associate Professor,TANAKA SHUHEI	
				Graduate School of Global Environmental Studies Associate Professor,ONITSUKA KENICHIROU	
				Graduate School of Global Environmental Studies Associate Professor,OCHIAI CHIHO	
				Graduate School of Global Environmental Studies Associate Professor,ASANO SATOSHI	
				Graduate School of Global Environmental Studies Professor,NISHIKAWA KANTO	
				Graduate School of Global Environmental Studies Program-Specific Assistant Professor,MIYAJI MARI	
				Graduate School of Global Environmental Studies Associate Professor,TAKAI ATSUSHI	
Group	Interdisciplinary Sciences		Field(Classification)	Environmental Sciences	
Language of instruction	Japanese		Old group	Group A	Number of credits 2
Number of weekly time blocks	1	Class style	Lecture (Face-to-face course)		Year/semesters 2025・First semester
Days and periods	Thu.1	Target year	All students		Eligible students For all majors
[Overview and purpose of the course]					
多くの関心を集めている地球環境問題に対し、その「解決」を目指す地球環境学の概要を習得することを目指している。地球環境問題を理解し紐解くための文理融合型の幅広い知識を学習し、複眼的な見方から理解を深めることを目的としている。					
[Course objectives]					
地球環境学に関する幅広い知識を得ると共に、文理融合型の学問に対する取り組み方や学習方法について理解する。					
[Course schedule and contents)]					
以下の3つの主題に関する内容をリレー形式で概説する。詳細な講義日程、各回の講義内容などについては、初回の講義において日程表を配付する。地球環境学堂に所属する教員の研究や視点を通して、「地球環境学」の必要性、課題、アプローチの方法等について概説する。全講義を通して、幹事担当の教員が参加し、各回の講義担当の教員との議論も含めながら進行する。					
----- Continue to 地球環境学のすすめ(2) -----					

地球環境学のすすめ(2)

- I. 問題設定の枠組みを考える
- II. 環境変化に対応する
- III. 自然災害に適応する

講義内容（変更の可能性あり，初回講義にて確認すること）

- 第一回 ガイダンス，および「遊牧文化と草原の持続性」（西前出）
- 第二回 地域に根ざした文化的景観の保全（西前出，深町加津枝）
- 第三回 砂漠化問題に対する地球環境学的アプローチ（西前出，真常仁志）
- 第四回 世界、京都、京都大学、そして私の持続可能性（西前出，浅利美鈴）
- 第五回 環境と衛生：人の尊厳と健康を守るもののふんべつ（西前出，原田英典）
- 第六回 気候変動政策とエネルギー政策の統合（西前出，森晶寿）
- 第七回 新規有機化合物の有用性と危険性（西前出，田中周平）
- 第八回 里地・里山保全とガバナンス：誰がどう守るのか（西前出，鬼塚健一郎）
- 第九回 世界遺産と地域防災（西前出，落合知帆）
- 第十回 環境の変化と再生 研究者に求められること（西前出，浅野悟史）
- 第十一回 生物多様性と外来種問題：何を、どこまで保全するのか（西前出，西川完途）
- 第十二回 自然災害と人間居住：開発途上国の住宅再建からみる持続可能性（西前出，宮地茉莉）
- 第十三回 社会基盤整備と環境保全（西前出，高井敦史）
- 第十四回 総括（全教員の参加による討論）
- 第十五回 フィードバック（方法は別途連絡します）

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

講義中に教員がレポート等の課題を課す。提出されたレポート等に基づき、各教員が各回の得点を決定する。ただし、講義によっては「出席と参加の状況」で評価する場合もある。総合得点（100点満点）によって評価する。

[Textbooks]

京都大学地球環境学堂（編）『地球環境学-複眼的な見方と対応力を学ぶ』（丸善）

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

特に指定しない

（Related URL）

<http://www.ges.kyoto-u.ac.jp/index.html>

[Study outside of class (preparation and review)]

教科書「地球環境学-複眼的な見方と対応力を学ぶ」を事前に学習しておくこと。

[Other information (office hours, etc.)]

文系・理系にとらわれず、広い視野に立って講義する。特定の専門に特化した知識は必要なく，初心者にとっても理解しやすい講義を行う。ただし、教科書は必読である。

授業中，わからないことについては積極的な質問を期待する。

Continue to 地球環境学のすすめ(3)

[Essential courses]